※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3006

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	国語演習	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	なし						
副教材等	ワークシート等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１～３年生で学んだことを活用して、さまざまな文章の読解を行っていきます。
・古文や漢文については基礎的な知識・技能を活用し、より発展的な内容理解ができるようにしていきましょう。
・教材については担当者が用意します。筆記用具とファイルを忘れないようにしてください。
・提出物については期限を把握したうえで、計画的に取り組んで提出してください。

2　学習の到達目標

・国語に関する幅広い分野の知識・技能を身につけ、日常生活で活用できるようにする。
・論理性、共感性を伸ばし、他者の思いを理解し、円滑に他者とコミュニケーションを取ることができるようにする。
・我が国の言語文化の担い手として、言語を通して社会や人と関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	・「書くこと」の領域において、聞き手に効果的に伝わるように、文章の種類、構成、展開、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 ・「読むこと」の領域において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈したうえで、その作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係性をふまえて内容の解釈を深めることができる。	・言葉を通じて積極的に他者や社会にかかわったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	説明文の読解 ［教材］ 自作プリント	a：文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解することができる。 b[読]要点を把握：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨やすることができる。 c：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート
	論理的な文章の読解 ［教材］ 自作プリント	a：文章の効果的な組立て方や、接続の仕方について理解できる。 b[書]：文章の構成や展開、表現の仕方について理解したうえで、その要旨をとらえて書くことができる。 c：文章の構成や展開、表現の仕方について理解したうえで、その要旨をとらえて書こうとしている。	定期考査	定期考査 課題物	ワークシート
	古文読解 ［教材］ 自作プリント	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解できる。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や厚生、展開などについて叙述を基に的確にとらえることができる。 c：積極的に文章の内容を理解しようとし、古文を読み解くための知識・技能を身につけようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	ワークシート 振り返りシート
	漢文読解 ［教材］ 自作プリント	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解できる。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や厚生、展開などについて叙述を基に的確にとらえることができる。 c：積極的に文章の内容を理解しようとし、漢文を読み解くための知識・技能を身につけようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間